



会報

昭和60年前期

NO. 24

社団法人

全国建設機械器具リース業協会

Denyo

建設工事のよきパートナー デンヨーのパワーソース

エンジン発電機

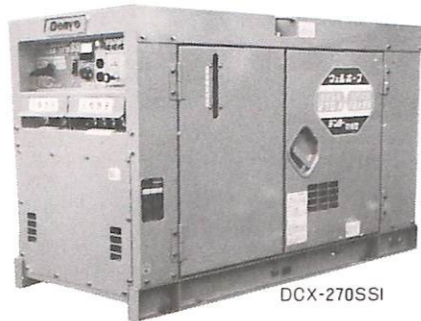
0.5~750KVA



DCA-500SSA-M

エンジン溶接機

100~650A



DCX-270SSI

エンジンコンプレッサー

1.4~21.2m³/min



DPS-750SS

光と熱と力の可能性を追求して37年。
豊富な技術と経験で、
「多用途・高信頼性」に自信をもってお応えします。

●技術で明日を築く



本社 〒164 東京都中野区上高田4-2-2 TEL(389)3111

支店・営業所

札幌営業所011(851)6116・仙台営業所0222(86)2511・北関東営業所0272(51)1931・東京支店03(552)1201・横浜営業所045(774)0321
静岡営業所0542(61)3259・名古屋営業所052(935)0621・金沢営業所0762(91)1231・大阪支店06(488)7131・高松営業所08787(4)3301
広島営業所082(255)6601・福岡営業所092(503)3553 出張所/全国主要39都市

—— 巻頭言 ——



(社)全国建設機械器具リース業協会
会長 坂井 昭

努力の蓄積で 確かなメリットを

中小企業近代化促進法に基づく特定業種として
構造改善計画実施の第二年度事業を推進中の我々
(社)全建リース協の活動も、建設業界の景況不振に
もかわらず、実質的に会員各位にメリットを体
得して頂けるようになってきました。

我々が時流を捉え、地区協会から連合会を生み
連合会が社団法人化を認められ、全国統一組織の
現在体制を確立することができ、更に建設関連団
体としてその存在が社会的にも重要な地位を占め
つつあることから、格段の近代化を望まれるに至
ったのであります。

このように協会の活動が効を奏し、会員がその
恩恵に浴する事ができ始めたのも、協会運営如何
もありましたが、それよりも重要な事は会員各
位の自覚と使命観と強力な協調団結の行動力こそ
諸般の難問を突破し、「建設機械器具賃貸業」と
しての、業界ぐるみの体質改善が推進され経営基

盤の確立が実現されるのであります。

特に協会が当面する諸問題の解決には、極少の
本部職員ですべて処理されるべきものでもなく、
且つその処理方法・内容に於ても公正なるもので
あってこそ会員各位の協調・実践力の源泉たり得
るものと確信し、協会運営を広く委員会構成によ
り、数多くの会員の参加により、構造改善事業の
実利を会員各位に体得して頂きたいのであります。

特に特別委員会には、次の6委員会があります。

- (1)構造改善専門委員会→推進委員会(諮問機関)
- (2)可発委員会→可発整備技術委員会(諮問機関)

(3)登録内容検討委員会

(4)流通委員会

(5)厚生年金基金設立準備委員会

(次頁に続く)

会報第24号 目次

可発/電気事業法に関するお願い	
通産省・嶋田班長	3
第12回総会	4
協会議事録・協会の活動	5
可発に係る通達の主旨と対応	9
可発講習会を終えて・谷敬次郎	10
構改/中小公庫、国金よりの借入について	12
地区だより	14
支部名簿	29
編集後記、事務局だより	30

(6) 大手参入対策委員会

上記各委員会はその運営目的により、構造改善事業の推進のため活動を続けております。

その中でも可搬形発電機の取扱いには通産省資源エネルギー庁との接渉がまとまり、(社)日本内燃力発電設備協会とは別に(社)全建リース協に於ても、技術認定者により取扱う事を認められ、先般来東京を始め各地に於て整備技術者講習会を関係メーカーのご協力により開催し、技術者の認定を行い、通産省通達による各種届出業務及び定期点検の励行等を指導することになりました。

事務局長会議は、協会本部と支部間の連絡を緊密にして、本年度の事業計画の円滑な達成を図ることとしています。

尚、建設産業の発展に大きく寄与するために(社)全建リース協としては、関係官公庁・政府系機関・関係団体及び、建設業友好団体による、審議・諮問委員会の設置により双方の交流を深め、協会活動の内容充実努める方針であります。

応急復旧時の民間保有機械等の活用体制について（協力依頼）

建設省河川局防災課
災害対策調査室長

建設省河災発第24号（昭和60年7月9日）

地震、洪水等の災害が発生した場合は、国民経済上及び民生安定の見地から、迅速な復旧が期待されており、建設省としても所管施設の管理者としてその使命を果たすため、震後対策技術の研究開発、復旧資機材の備蓄等の諸施策を積極的に推進しているところであります。しかしながら、災害の規模によっては建設省保有の建設機械、資材、要員（以下「機械等」という。）では不足するこ

最近、我々協会が全国組織化を固め構造改善事業に真剣に取り組む事になり、支部地区の活動にも段々と熱気を帯びてくるようになってきた反面、大手企業の参入に関する動きも活発になりつつある現況から、秩序と協調により健全な業界の近代化に一沫の不安を与えるような事態に対しては、協会員が一致協力して対応すべきものであります。

我々協会活動の内容を更に充実し、且つ経営体質を強化するためには、各地区支部より選出任命されている夫々の委員会のメンバーの会員は、来るべき将来のため万難を排しても積極的に出席発言を賜り、併せて運営の活性化に格段のご協力を賜りますようお願い致します。

このような一つ一つの努力の蓄積がやがて協会員全般に及ぶ成果となる事を確信致します。

とが考えられますので、貴会の協力を得て、民間保有の建設機械等を活用できる体制の整備を推進するよう、別添写しのとおり事務次官より通達されたところであります。

これに伴い、協定の締結等については、地方建設局又は北海道開発局から協力依頼があった場合は、趣旨ご理解のうえ、ご協力を賜りたく、併せてこの旨を貴会さん下の支部及び会員に対し、周知されるよう依頼します。



可搬形発電機に関する 電気事業法の運用通牒実施に伴う お願いについて

通商産業省 資源エネルギー庁公益事業部
技術課・運営班長 嶋田 実

資源エネルギー庁公益事業部ではこの度昭和60年5月23日付で、建設工事現場等で使用される可搬形発電設備について電気事業法上の取扱いについて定めた公益事業部長通牒「建設工事現場等における移動用電気工作物の取扱いについて」を各通産局宛通知すると共に、(社)全国建設機械器具リース業協会他関係機関に対し、同通牒の円滑な実施を図るため周知協力方をお願いを致しました。可搬形発電設備の保安確保について従来は、昭和41年8月18日付41公局第495号公益事業局長通牒「移動用電気工作物の取扱いについて」により運用されておりました。

しかしながら、最近は建設工事の機械化・効率

化の進展に伴ないリースによる短期間使用の可搬形発電設備が急増し、旧通牒では運用できない事態となつてきておりました。

この問題を解決するため、貴協会が今年度から実施されることとなりました可搬形発電機整備技術者制度等を積極的に活用して12月から新通牒により実施することとしたものです。

可搬形発電設備に関し、高い供用率を保持されている貴協会各位におかれましては、通牒の主旨に沿って建設業者等が常に安心して使用することができる整備点検された良好な可搬形発電設備を貸し出されることをお願いする次第です。

〔別添〕 応急復旧時の民間保有機械等の活用体制について

建設事務次官

建設省河災発第4号（昭和60年1月25日）

地震、洪水等の異常な天然現象により生じた災害の応急復旧を迅速に行うためには、建設省保有の建設機械、資材、要員（以下「機械等」という）では不足することが考えられるので、地域性、業界との関係等各地方建設局等の実情を踏まえて、民間保有の機械等を応急復旧時に活用できるよう

に、建設業者、測量業者、建設コンサルタント、建設機械器具賃貸業者又はこれら業界の団体と協定を締結する等平常時において、民間保有の機械等を確実に活用できる体制の整備を推進されたい。

また、広域的な災害の場合に備えて民間保有の機械等による他地方建設局等への応援ができるよう配慮されたい。



第12回総会開催

日時 昭和60年5月28日(火)
午後1時～3時
場所 池の端文化センター 楓の間
出席者 686名
(出席45名, 委任状641名)
(3月末会員数865名)

議事

1. 総会成立報告 松田専務理事
2. 開会の辞 小俣副会長
3. あいさつ 坂井会長
4. 議長選出及びあいさつ
(選出議長)松尾常任理事
5. 議事録署名人の指名
(指名署名人)福山・志茂常任理事
6. 議案及び報告事項
 - ①昭和59年度事業報告承認の件
木村常務理事
 - ②昭和59年度決算報告承認の件
大島常務理事
監査報告 太齋 監事
 - ③昭和60年度事業計画承認の件
木村常務理事
 - ④昭和60年度収支予算案承認の件

大島常任理事

- ⑤群馬県建設機械リース業協会の
加盟及び群馬県支部設置の報告
について 松田専務理事
- ⑥第34回理事会開催地の報告に
ついて 松田専務理事
上程された議案については、滞りな
く可決承認された。
7. 来賓祝辞
8. 閉会の辞 中村副会長
本総会来賓として当協会顧問・参議院議員・井
上孝先生, 古賀雷四郎先生, 坂野重信先生をはじめ,
建設省建設経済局建設機械課・渡辺課長, 建
設振興課・塩島専門官, 通商産業省資源エネルギ
ー庁技術課・金沢技官, 火力課・後藤技官及び労
働省安全衛生部安全課・伊藤専門官の方々により
お祝辞とはげましのお言葉を賜った。

協会議事録

第32回理事会

日時 昭和60年3月12日 PM2:00～5:30
場所 東京会館
出席者 理事34名, 監事3名
(出席28名, 委任状9名)

議題

1. 昭和59年構造改善事業の実施状況の報告
について
2. 構造改善計画の変更に係る承認申請書につ
いて(上記2件の可決承認の議事録写を添付
して申請することについて)
3. 登録制度検討の特別委員会設立について
4. 大手参入対策委員会の設立について
5. (仮称)全建リース協厚生年金基金設立準
備委員会設置について
6. その他
 - ①参与の増員選出について
高屋浩二氏 玉井武治氏 桑原重夫氏
 - ②60年度建設大臣表彰推薦について
伊藤鉄雄氏
 - ③事務局職員の採用について(囑託)
谷敬次郎氏
 - ④第34回理事会について(茨城支部担当)
 - ⑤神奈川建設機械リース業協会の(県認可)
社団法人化について

臨時理事会

日時 昭和59年4月11日 PM12:00～PM4:00
場所 全建リース協会議室
出席者 理事34名(出席24名, 委任状11名)

議題

1. 小松製作所のレンタル業界参入について
2. 第11回総会について

.....

日時 昭和59年8月27日 PM2:00～4:30
場所 全建リース協会議室
出席者 理事34名(出席23名, 委任状11名)

議題

1. 構造改善事業実施についての説明と要望
2. 可発委員会(特別委員会)の増設と可発整
備技術委員会(諮問機関)の新設について
3. 厚生年金基金制度推進について
4. メーカー商社等の建機レンタル業界参入問
題について

第1回常任理事会

日時 昭和59年5月23日 PM12:00～PM5:00
場所 全建リース協会議室
出席者 16名
議題 1. 第11回定期総会に関する事項
2. その他

第2回常任理事会

日時 昭和60年2月20日 PM1:30～5:30
場所 全建リース協会議室
出席者 16名
議題

1. 構造改善事業計画実態調査等について
2. 可発整備技術者講習会制度について
3. 厚生年金基金制度について
4. 登録制度創設について

5. 新支部設立と各地の動向について
6. 九州地区の大手参入問題について
7. 流通委員会開催(3月14日)について
8. 神奈川支部の法人化について
9. 厚生年金基金設立準備委員会設置について
10. 登録制度委員一部変更について
11. 第32回理事会開催(3月12日)について
12. 第34回理事会開催(9月6日)について
13. 財務関係について

合同委員会

日時 昭和59年6月12日 PM12:30~4:30
 場所 全建リース協会議室
 出席者 12名(通常, 特別委員会各委員長)
 議題

1. 各委員会の副委員長, 委員の人選について
2. 参与の人選について
3. 各委員会事業計画実施について
4. 登録制度について
5. 日産機材のレンタル業界参入について

事務局長会議

日時 昭和59年7月27日 PM12:00~PM3:00
 場所 全建リース協会議室
 出席者 20名(出席17名, 委任状3名)
 議題 59年度事業計画全般と推進について

委員会

- (1) 中小企業近代化審議会建設部会, 同分科会は存続し, それぞれ委員が参加している。
- (2) 組織の強化を図るため可発委員会を特別委員会として新設した。
- (3) 可搬形発電機整備技術者講習会制度の確立を図るために関係諸官庁, 関係団体, 学識経験者, 業界関係者等をメンバーとする可搬形発電機整備技術委員会(諮問機関)を新設した。

- (4) 厚生年金基金制度を推進するため(仮称)社全国建設機械器具リース業協会厚生年金基金設立準備委員会を設立した。
- (5) 建設省による建設機械器具賃貸業者登録制度委員会に全建リース協より委員参加。
- (6) 登録制度創設に係る調査研究のため登録内容検討委員会を設立した。
- (7) 大手参入について対策を構ずるため大手参入対策委員会を設立した。

構改専門委員会

1. 59年4月1日構造改善計画全体計画(5ヶ年)及び59年度構造改善計画の建設大臣の承認を得る。(建設省東計振発第39号)

- (1) 建設省新聞記者会説明会
- (2) 官報告示
- (3) メーカー商社への協力要請
- (4) 構造改善計画書の会員配布, 事業発足
- (5) 59年度企業別資金調達計画提出
- (6) 構造改善融資変更届の作成
- (7) 割増償却制度パンフレットの作成
- (8) 本部, 東京合同専門, 実行委員会(59年度の構造改善事業の実施状況報告書作成調査票及び60年度構造改善計画(変更)に係る承認申請書調査票について検討)
- (9) 60年3月12日付にて59年度構造改善事業の実施状況報告書及び構造改善計画の変更に係る承認申請書(60年度計画)を建設大臣に提出

(10) 同上, 状況報告書及び承認申請書について
 60年3月19日中小企業近代化審議会, 建設部会, 同分科会を開催(建設省)し同分科会の承認を得る。

2. 日時 昭和59年11月21日 PM1:00~4:00
 場所 全建リース協会議室
 出席者 30名 全国各支部事務局長及び(または)構造改善専門(実行)委員他
 議題 1. 構造改善事業59年度報告及び60

年度計画作成の日程について

2. 調査票及び調査実施について
3. 報告書, 申請書について
3. 可搬形発電機整備技術者講習会
 本制度を確立するため, 可発委員会(小委員会を含む), 可発諮問委員会等昭和60年度間に於ける会議は50回以上に及ぶ。

構造改善推進委員会

59年11月1日, 59年度構造改善事業の実施報告書及び構造改善計画の変更に係る承認申請書作成に係る調査票他について

支部設立

群馬県建設機械リース業協会昭和59年11月27日設立

その他の報告事項

1. 陳情 建設産業専門団体協議会
 建設産業関連業種団体(全測連, 全地連, 建設コンサルタント, 全建リース協)として, 公共事業の確保, 補正予算の増額等につき関連団体, グループ受持, 通産大臣, 中小企業庁長官等歴訪
2. 友好団体懇談会(建設産業専門団体協議会=建専協)
 昭和59年5月7日以降建設省昭和60年度重点施策等につき隔月毎の懇談会に参加
3. 建設大臣表彰
 相談役山内鹿蔵氏を推薦し其の功績を認められ建設大臣より表彰を受く

協会の活動

- 59.10
- 1 松田専務理事: 可発の件で五社会代表を訪問(竹中工務店 荻倉電気課長)
 - 2 松田専務理事: 可発の件で建設省, 労働省訪問
 - 8 松田専務理事: 登録制度の件で建設省, 大成建設訪問
 - 15 松田専務理事: 登録制度の件で建設省, 慶島建設訪問
 - 16 木村常務理事: 構改融資に付, 中小公庫, 国金訪問
 - 17 松田専務理事: 可発に付, 竹中工務店(五社会幹事)訪問
 - 18 松田専務理事: 可発に付, 西松建設(建電会々長)訪問
 - 19 松田専務理事: 可発に付, 建設省, 日本建設機械化協会, 日本電機工業会訪問
 - 22 木村常務理事: 構改の件で建設省他訪問
 - 23 松田専務理事: 建設省へ登記完了届を提出
 茨城支部の常任理事会に出席(筑波サンルートホテル)
 - 26 厚生年金基金制度・受託者会議(明治生命他)開催
 (坂井・中村 阿部・小俣・松尾・松田・木村出席)
 11. 1 構改推進委員会開催(庄委員長他)
 - 6 坂井会長: 中小企業近代化審議会・建設部会出席
 木村常務理事: 兵庫支部構改研修会に出席
 - 8 松田専務理事: 東京都庁を訪問(厚生年金基金)資源エネルギー庁訪問(可発認定)
 - 14 群馬県建設機械リース業協会設立準備報告の為, 高屋浩行氏(高栄リース)来協
 通商産業局, 資源エネルギー庁公益事業部技術課 嶋田技官(運用班長)可発の件で来協
 - 19 労働省へ建専協, 関連業種グループとして陳情(補正予算, 昭和60年度建設投資予算確保)
 - 21 九州支部・深尾支部長来協(バイオニア関東進出の件)
 - 27 群馬県建設機械リース業協会設立総会(小俣会長代行・松田専務理事他出席)
 木村常務理事: 公益法人説明会に出席
 - 28 第2回厚生年金基金受託者会議開催
 - 30 可発テキストの件で日車・デンヨー(武田・町永氏)来協
 12. 1 近藤理事(静岡重機協同組合)賞授叙勲祝典(坂井会長・木村常務理事祝賀のため出席)
 - 6 松田専務理事: 五社会出席可発経過報告
 - 10 可発委員会, 衆原認定主査・松田委員通産省説明会
 第12回建専協定例懇談会出席(中村副会長・木村常務)
 - 12 松田専務理事: 通商産業局資源エネルギー庁訪問打ち合せ

- 1 4 松田専務理事：通商産業局資源エネルギー庁訪問打ち合せ
- 1 9 松田専務理事・桑原認定主査：建設省・通産省年末挨拶
- 2 0 松田専務理事：公正取引委員会訪問（協会書類提出）
- 2 5 松田専務理事：建設省・建設機械課訪問（登録制度他）
- 2 6 第3回厚生年金基金・受託者会議開催（於全建リース協）
- 2 7 松田専務理事：通産省・建設省・労働省他訪問（挨拶）
- 6 0 1. 7 建設省・通産省・中小企業庁・中小公庫・国金・東京通産局・労働省他、新年挨拶（松田専務・木村常務）
- 9 日本建設機械化協会・日本電機工業会・西松建設 鹿島建設・大成建設・竹中工務店 内発協他（松田専務理事）
- 1 0 坂井会長・松田常務理事：衆参両院会館にて顧問諸先生に挨拶
坂井会長：建専協賀詞交換会出席
- 1 4 松田専務理事：東京通産局訪問（可発打合せ）
- 1 6 新東京建設機械リース業協会賀詞交換会出席（坂井会長・松田専務理事・木村常務理事）
- 1 7 茨城県建設機械リース業協会賀詞交換会出席（木村常務理事）
- 1 8 東京通産局内藤担当官来協（可発打合せ）
- 2 0 松田専務理事：九州支部理事会に出席（於沖縄）
- 2 1 松田専務理事：沖縄開発庁・沖縄振興開発公庫他訪問
- 2 2 木村常務理事：日本建設機械化協会リース・レンタル部会出席
- 2 3 木村常務理事：群馬支部賀詞交換会出席
- 2 4 可発諮問委員会開催（於全建リース協）
- 2 6 松田専務理事：長野支部セミナー及賀詞交換会出席
- 2 8 登録制度第1回打合せ（於全建リース協）
- 2. 4 松田専務理事：東京都庁へ社保調査の件で要請訪問
- 5 松田専務理事：内発協・波多野専務理事訪問打合せ
- 8 松田専務理事：通商産業局・資源エネルギー庁訪問打合せ
- 1 2 通商産業局訪問打合せ
- 1 3 松田専務理事：内発協・事務局訪問打合せ
- 1 5 木村常務理事：建設省へ構造改善事業創増償却の件打合せ
- 1 8 松田専務理事：通商産業局資源エネルギー庁・建電会（西松建設）・全地質連合会訪問打合せ
- 2 1 登録制度第2回打合せ（於全建リース協）
- 2 7 第4回厚生年金基金受託者会議開始（全建リース協）
- 3. 2 長野支部手塚事務局長可発打合せの為来協
松田専務理事：建設省・日本建設機械化協会訪問（可発）
- 6 松田専務理事：東京都庁・明治生命・厚生年金基金で訪問

- 1 1 松田専務理事：通商産業局・内発協訪問（可発）
- 1 2 坂井会長・松田専務：建専協定例懇談会出席
- 1 4 松田専務理事：大阪支部可発研究会に出席
- 1 8 松田専務理事：建設省訪問（法人化）
- 1 9 中小企業近代化促進審議会出席（坂井・小俣・三瓶・志茂・松田・木村出席）
- 2 5 松田専務理事：日本電機工業会・通商産業局 建設省・日本建設機械化協会訪問打合せ
- 2 6 坂井会長：中小企業近代化促進審議会建設部会出席
建設省訪問（法人化）
- 2 7 可発整備技術委員会（諮問機関）開催（五社会建電会他）
- 2 8 法人化について建設省訪問（中村・小俣・橋本・大竹・小林幹・松田）
- 2 9 松田専務理事：建設省訪問（法人化）
- 4. 2 松田専務理事：全国クレーン建設業協会訪問（情報支援他）
- 8 松田専務理事：通商産業省・東京通商産業局訪問（可発）
- 1 0 坂井会長・松田専務理事：建設省渡辺機械課長訪問（法人化）
- 1 2 北海道支部安達事務局長来協（可発打合せ）
- 1 7～1 8 可発整備技術講習会（大阪ブロック）開催、受講者207名
- 2 3～2 4 可発整備技術講習会（関東ブロック）開催、受講者200名
- 2 6 坂井会長・小俣総務委員長・松田専務理事：建設省訪問（法人化）

.....

スウェーデンよりE・ヨハンセン氏 協会を訪問

昨年の10月29日(月)、スウェーデン国立機械試験所の所長である、エリック・ヨハンセン氏が当協会を訪問された。氏は我国の建機レンタル業について、特にバックホーの稼動状況とオペレーターの調達問題を中心に質問された。

およそ2時間程の時間であったが、我国の業界について認識を深めるうえで役に立ったと思われる。

可搬形発電機に係る通牒(通達) の主旨と対応について

会 長 坂井 熙
可発委員長 福山 勝

1. 通牒(通達)について

移動用発電装置(可搬形発電機)の運用は昭和41年8月18日付公用第495号公益事業局長通達によるものでありますが、高度成長下、工事の機械化等により可発に於てもリース・レンタル業者等が所有するものを、建設業者等がリース・レンタルする事例が益々増加し、現在の賃貸供用率は90%に達しているといわれております。

又、其の取扱いについても、賃貸期間の短いこともあり、機械の出入も激しく、従来の通達では十分な運用が図れないのが実状であります。

此のため、通商産業省(以下通産省)に於ては下記団体

(社)日本電機工業会
(社)全国建設機械器具リース業協会(全建リース協)
(社)日本内燃力発電設備協会(内発協)

等と協議検討の上、昭和60年5月23日付60資公部第192号公益事業部長通牒「建設工事現場等における移動用電気工作物の取扱い」を定め今後これにより運用されることとなりました。

2. 取扱いにおける主な改正点

旧通達では、発電機を使用する者は、電気事業法に基づき、電気主任技術者を選任し保安規程を定め、所轄通産局に届出る義務があります。

この主任電気技術者については、原即として第3種以上の資格者の中から選任されることとなっているが実際の事業所数に対し、有資格者が非常に少ないのが現状であります。

新通牒によれば、この隘路を打開するために電気事業法第72条第2項に基づく適任者として、内発協の専門技術者と全建リース協認定による可

発整備技術者が常時保管する場所における当該発電設備(可発)の工事、維持及び運用についての許可主任技術者として選任される有資格者となる。

又、リース業者に義務づけられた年1回以上の定期点検を行う者として上述の技術者に其の資格を与えられました。

この定められた技術者による点検終了後は「定期点検済証」を可発(3KVA以上)に貼付する等以上の様な責任と義務が生じました。

更に通産省は、両法人協会を許可主任技術者の養成機関として指定されました。

3. 今後の課題

全建リース協は、構造改善計画の中の人材養成事業として、“可搬形発電機整備技術者講習制度”の確立により、可発自主管理体制の基本目的としたところ、官側の行政改革推進の主旨として通達された本通牒と幸にしてドッキングされた事は、リース・レンタル業界の社会的使命観に対し、明確な裏づけがなされた訳で、誠にご同慶にたえません。同時に思いを新たにして通産省当局の最も危惧されている法の平等化について、又当協会に対するご期待にいかに対応すべきか、今後この通牒を適格に運用するためにも、ここで改めて姿勢を省り見る必要があります。

4. 社会的使命の再確認と弾力的運用について

全建リース協としては法の大意はもとより、官側の主旨を充分尊重し、可発の適格な運用を推進することが、民間活力活性化に添うものであり、それが社会に大きく期待されていることを忘れてはなりません。

もし全建リース協に於いて、単に正会員のみを対

象とし、他を省みることなき、狭義の解釈を固守するならば、法の平等化に対し、其の成行きに重大な関心を持たれる行政官庁のご期待を逆撫ですることにもなりかねません。

特に本事業（可搬講習会制度）達成にいたる過程の中で、直接、間接、並々ならぬご支援を賜り、且つ可搬講習会委員としてご参画いただいた下記の

官 例 建設省・通産省・労働省
関係団体 (社)日本電機工業会・(社)日本建設機械化協会・(社)日本内燃力発電設備協会
建設業 五社会 幹事：大成建設
副幹事：清水建設
会 員：5社
建電会 会 長：西松建設
副会長：佐藤工業
会員数：25社

等に対しいささかなりとも全建リース協の良識を疑われるようなことは避けなければなりません。

特に日本電機工業会（発電機メーカー）より出向された諮問委員各位の献身的協力は我々業界に対するサービスの域を超えるものがありこのように全建リース協を中心に取巻く総ての業界の期待を、我々はどのような形で還元するのか、其の方策如何によって、今後の全建リース協の評価が定まることを忘れてはなりません。

可搬形発電機整備技術者講習会を終えて

今回の可搬講習会は、若葉の季節を迎えただけの大坂支部の講習会を皮切りに、梅雨前線が北上し活発となるため、集中豪雨に見舞われる恐れありとの警報下での福岡市の九州ブロック講習会を最後に無事終了いたしました。

危惧していた7地区での講習会が6月27日をもって全行程を無事終了することが出来たことは、

5. おわりに

通達にも明記されている通り、本技術者資格等に於ても、全建リース協・内発協、二つの協会は全く同等であって、届出・定期点検・点検済証の貼付等、何等異なるところはありません。（通達の別表、電気事業法上の手続体系図による）

只、全建リース協の場合、本計画は構造改善計画の中に組み入れられたので、当初正会員のみを対象としましたが、通達通達に示す如く、リース業全体の指導育成について通産省より社会的責任を与えられました。

このために、法の平等化問題を含み、本事業活動の範囲が拡大されたことは事実で、この辺で対応姿勢に混乱を生じましたことに付き遺憾に思います。

何はともあれ、今回の可搬講習会制度確立により、建設産業界に全建リース協の存在価値が高められたことと、本事業活動により波及的效果を生み、一層活性化されることが予見されますことは誠に喜ばしい限りで、会員諸士の深いご理解と暖いご支援を心より深謝申し上げますと共に、今後の運営に絶大なるご協力をお願いいたします。

ひとえに各ブロック担当支部の事務局長をはじめ役員理事の方々のご協力の賜ものであり、ここに深く感謝するとともに厚くお礼を申し上げます。

省れば、この可搬形発電機整備技術者講習会は構造改善事業計画の人材養成事業であり、可搬形発電機の自主管理とその整備技術者育成を基本目的とした体制づくりとして「可搬形発電機整備技

術者講習会制度」の確立準備に入ったのが今年の10月、直ちに可搬形発電機整備技術委員会（諮問委員会）の設立を企画され建設省、通産省、労働省、(社)日本電機工業会、(社)日本建設機械化協会、(社)日本内燃力発電設備協会、五社会、建電会等のご支援をうけて達成され、数回の建議を経て本年4月より6月までの3ヶ月間で全国19支部の会員を対象に7地区ブロックに分け、整備技術者認定講習会の実施計画が指示され、4月17日より近畿ブロックの講習会を大阪の科学技術センター会場で206名の受講者を対象に開催実施、これを皮切りに北は北海道、南は九州まで日本縦断7地区で1,626名の整備技術者の養成を終え、1,570名の技術者が誕生することが出来ました。

想えば各地区ブロックでの実施については担当支部の事務局長さんの多大なる協力により会場（200名収容）の準備、会員への受講要請連絡、受講申請手続の指導、受講申請書の取まとめ、本部事務局への連絡、受講料送金、当日の受講受付等の業務を献身的に援助下され、講習会が計画通りに順調に進行し無事終了したことを本部事務局の担当者として改めて深く心からお礼申し上げます。又、忘れてならない事は可搬委員会の各主査にあっては率先指導をいただき、かつ激励下さいましたおかげで感謝の言葉もありません。一方、ブロックでの受講者の態度も、講習会の意義と企業としてのあるべき姿勢について十分な理解をもたれ、その重要さを認識され教習科目別に熱心に講師先生の講義に耳をかたむけメモを取り、整備技術者としての心構え、点検整備技術の知識習得に努力されている姿勢を目の当たりにし感動した一人です。

今回はリース・レンタル業としては取扱い品目の一部である可搬形発電機であるが、受講された態度より推してすべての取扱う機械器具に対する管理、点検、整備の作業がいかに大切であるかを



▲北海道会場



▼大阪会場

理解されたものと自負するものであります。

この講習会は毎年繰返し実施され技術者の育成が続行されますが、ただ資格の取得のみでなく、義務と責任とを自覚し、各自研鑽を積み重ねられんことを願ってやみません。

なお今回の講習を受講された会員は20才代より60才代までの年齢の幅は広く老若が一同に会し、又、経営者と従業員が一体となり整備技術のしくみ、関連法令等の知識習得に挑戦された事は他に類を見ないものと思います。知識は時間の経過によって記憶の持続は減少するのが一般であります。今回使用のテキストを折をみてひもとき、研鑽されんことをお願いし筆をおきます。

終りに今回の講習会の講師各位に対し心から厚くお礼申し上げますと共に、これからも受講者のよき指導者としてお力添え下さいますよう紙上を借りお願い申し上げます。

事務局 谷 敬次郎

[構造改善事業]

中小公庫、国民金融よりの借入について

全建リース協は、昭和59年4月1日より、中小企業近代化促進法による5カ年間の構造改善事業を開始いたしました。それにとりま、同事業に参加している当協会会員は、一般よりも有利な条件での金融上の助成を受けることができるようになりました。その中で借入の希望が多いと思われる中小企業金融公庫、国民金融公庫の構造改善貸付について、借入のための具体的な条件、手続き等は以下の通りとなっておりますので、ご利用の際はご一読下さい。

〔借入の条件〕

以下の条件のすべてに適合する必要があります。

1. 全建リース協の会員であること
2. 資本金1,000万円以下、または従業員50人以下の企業(サービス業における中小企業の範囲)
3. 全建リース協が毎年実施する実態調査(11~12月頃)において翌年度の借入計画を記入し、提出すること
4. 借入の目的が、構造改善の趣旨にあったものであること(貴社の経営の合理化、近代化等のための借入であること。単なる決算資金的なものは除きます)

(注) 上記3の実態調査において、翌年度の借入予定額を記入しなかった方で借入を希望する方、あるいは借入予定額を大幅に変更される方は、金融機関の窓口にご相談のうえ、必要な場合は「設備計画等の変更届出書」を提出して頂きます。詳しくは協会支部、本部までお問い合わせください。

〔借入の手順〕

相談…まずお近くの金融機関本支店窓口にご
↓ 相談下さい。

申込…借入をすることになったならば、正式
↓ に申込をします。その場合、原則として保証人、担保が必要となります。

面談…事業内容、資金の用途などについて説明して頂きます。貴社を訪問する場合があります。説明の際は、貴社の借入目的が経営の合理化、近代化等、構造改善事業の趣旨に沿ったものであることを、金融機関の担当者によくご説明下さい。

融資…契約後、すみやかに融資が行なわれます。

※申込から融資まで、一カ月前後で手続きが済み

ます。

※借入の際には、原則として下記の書類が必要です。

○確定申告書の控。帳簿類(収支、財産状況のわかるもの)。借入で購入する設備類の見積書
○登記簿謄本(法人の場合)。最近時の決算表
○試算表(法人の場合)。その他参考資料(営業案内、カタログなど)

〔融資の特色〕

◎返済までに据置き期間があり、利息は返済時に支払。

◎返済は、月賦あるいは隔月賦。

◎担保物件の登録免許税は免除。

※ 中小公庫、国民金融公庫ともに構造改善貸付のほか一般貸付があり、広く利用できます。

企業に対する中小公庫と国民金融公庫の構造改善貸付

	資金用途	貸付限度	貸付期間(据置き期間)	利率
中小公庫	構造改善計画に従った設備資金、長期運転資金	3億円内、運転資金1.2億 別枠で4千万円の代理貸付あり	設備資金10年以内 (2年以内) 運転資金5年以内 (1年以内) 原則として2ヵ月賦返済	2.1億までの 設備資金 7.5% その他 7.6%
国民金融公庫	同上	3千万円内、運転資金2,100万円	同上 原則として月賦返済	設備資金 7.5% その他 7.6%

※沖縄県については上記に代わるものとして、沖縄振興開発公庫より低利の融資が受けられます。

※代理貸付とは、貴社が取引している民間金融機関において、貸付の契約、資金の払込などの一切の手続きを行なう方法です。

※利率は昭和59年12月現在のものです。変更されることがありますのでご注意ください。

ご案内



'85会員名簿 2,000円・送料別
(支部協会又は全建リース協渡し)



ネクタイピン 1,200円 (支部協会渡し)



全建リース協バッチ <Z, Lの組合せ>
銀台金貼 1,200円 (支部協会渡し)

中国建設機械リース業協会

構造改善事業の重要な一環として計画された可搬形発電機取扱技術者の資格取得については、全国の会員を数ブロックに分け、北は北海道から南は九州にかけて、日本を縦断しつつ講習並びに試験が実施されています。

当地区につきましても、去る6月20日、21日、中国及び四国の二地区合同で、下記要領により講習会が開かれました。

1. 場 所 岡山市 岡山郵便貯金会館
2. 時間割

(20日) 9:00~9:30	受付
9:30~10:00	野口会長挨拶 本部委員訓示
10:00~12:30	発電機講義
12:30~13:30	昼食
13:30~17:30	原動機保全の講義
(21日) 9:00~11:00	整備の講義
11:00~12:00	法令の講義
12:00~13:00	昼食
13:00~14:00	法令(通達)の講義
14:00~14:30	会長終講挨拶 委員挨拶並びに訓示
14:30~15:00	テスト準備
15:00~16:30	認定試験

3. 本部委員

玉井武治氏 可発委員会副委員長
風間英夫氏 可発技術委員



谷敬次郎氏 全建リース協事務局

4. 講 師

川野 保氏(日本車輛)	概要, 発電機
関崎芳明氏(北越工業)	原動機保全
岸田勝行氏(デンヨー)	整備
町永昭雄氏(同上)	法令

5. 受講人員

	申込数	欠席	受講数
中国協会	210	4	206名
四国協会	44	1	43名
合 計	254	5	249名

予めこの事に関する周到な御計画と、玉井、風間両委員並びに本部・谷様の現場に於ける適切な御指導により、講習は極めて円滑に進められ、最終の認定試験につきましても厳正な雰囲気のうちに取り行われ、16時過ぎ、総ての行事を無事終了しました。

御指導頂きました委員並びに講師の方々に厚く御礼申し上げますと共に、健闘しました中四国受験者全員の合格を祈念致します。(6月25日)

大阪建設機械リース協同組合

大阪建設機械リース協同組合(理事長佐川重徳氏)は、「第28回通常総会」を5月29日午後4時から大阪東区のキャッスルホテルで開催した。

総会は、筒本副理事長の司会で進められ、まず佐川理事長が「昨年4月にスタートした構造改善事業も1年が経過。この間、当組合では構造改善事業の円滑な推進と組合組織体制の強化を図るため、委員会ならびに賛助部会を設置して積極的な活動を行なってきましたが、各位のご協力により59年度の構改計画を達成。2年目も近代化へ向けて確実な歩みを期しており、従来にも増してご協力、ご支援をお願いしたい」旨あいさつ。

このあと佐川理事長を議長に選出して議案審議に入り①59年度事業報告、同収支決算②60年度事業計画案、同予算案を満場一致で可決承認した。

なお総会では、構改事業の一環として各種講習会の推進に尽力した広津勉伸(ヒロツ)、福田武寛(富士建設機械)、北村武彦(デンヨー産業)の3氏に佐川理事長から感謝状と記念品が贈呈されたほか、新しく入会した組合員・賛助会員の紹介、さらに報告事項があり、藤田副理事長の閉会の辞で終了。引続いて別室で懇親パーティーに移り、和やかなふん囲気が続く中、午後7時過ぎ散会した。

(60年度の事業計画)

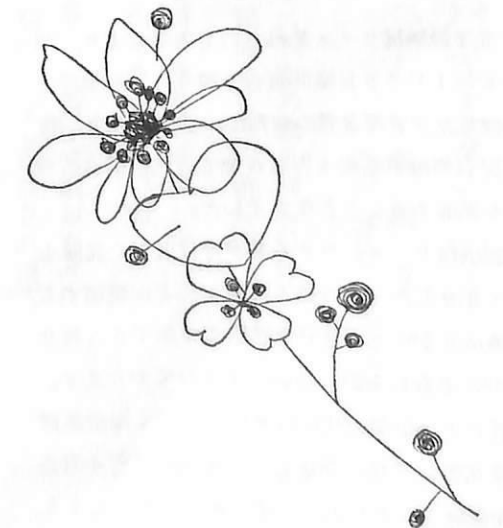
- ・ 近代化促進法に基づく構造改善の推進
- ・ 組合組織の強化と登録制の推進
- ・ 委員会活動の活発化と技能の向上
- ・ 厚生年金基金の推進

前記の目標を達成するために具体的につきの活



動を行なう。

▽国の承認を得た構造改善計画に従い強力に構造改善事業を推進し、業界の近代化を図る。▽組合員相互の共存共栄を図るため、会議を充実向上させる。▽広く関係官公庁および建設業界に対し組合のPRを行なう。▽建設機械整備技能検定(国家試験)の実施。▽可搬型発電機整備技術講習会の実施。▽取引の適正化を図る。▽メーカー等参入対策。▽組合員の親睦を深めるための行事を行なう。▽工場見学等研修会を行なう。



←地区だより

福井県建設機械リース業協同組合

1. 共同受注委員会（委員長共栄建機リース福島 敬栄）

福井備蓄に関する共同受注高は前期59年度約6千万円で、内組合収入手数料250万円強であった。

今期60年度の福井備蓄に関する共同受注高は約3,600万円、内組合手数料、180万円程度と見られ大幅ダウンが予想されるので、今期は福井備蓄はもちろんの事、福井空港、北陸新幹線、敦賀、高浜等の原発事業に対する共同受注に組合員の総力を結集し邁進することとした。

1. 共同購買委員会（委員長佛シラサワ鈴木智三郎）

共同購買事業に関して当組合の本年度、主要事業の1つに挙げ、業界が沈滞化している折からことその他厳しい環境下ではあるが組合員一同何分の深い理解をもって協力していく方針を定め、まず第一弾として賛助会員であるメーカーを選定し、ポンプを購入することとした。

1. 通常総会

去る5月22日芦原温泉にて通常総会を開催した。

出席組合員数9社、出席賛助会員数7社、特別決議事項として年間4回賛助会員との研修会及び懇親会を開き販売網の組織化や情報管理の強化を計ることとした。

愛知県建設機械リース業協同組合

中部建設機械リース業協会の有志者により、昭和60年1月25日協同組合を設立、共同事業による経営及び管理運営の合理化、設備の充実、情報の提供等経営活動を促進させて近代化構造改善事業を推進することとなりました。

建設機械リースレンタル業が今日大きく発展を遂げてきましたが、今後常に施工業者が要望する建設機械を安定的に良好な状態で供給できる健全な体制にあることが一層強く望まれております。

業界が中小企業近代化促進法に基づく指定業種から更に特定業種に指定され、昭和59年4月から5年間構造改善計画が承認されるところとなり

この推進母体として協同組合の設立をみたわけであります。

以下当組合の概要につき記しますので今後共よろしくご支援ご指導下さいませようお願いします。

○組合の概要

- イ 名称 愛知県建設機械リース業協同組合
- ロ 住所 名古屋市西区藤ノ宮通3丁目43番地
- ハ 役員 代表理事 坂井 照
理事7名 監事2名
- ニ 組合員数 昭和60年6月1日現在15名

←地区だより

ホ 出資口数 昭和60年6月1日現在750口（1万円/1口）

ヘ 設立までの手続経過

創立総会 昭和59年12月3日

理事会 昭和59年12月3日

代表理事の決定

事務所の決定

愛知県知事宛設立認可申請

昭和59年12月25日

同設立認可 昭和60年1月21日

設立登記（組合成立）

昭和60年1月25日

公正取引委員会届出

昭和60年2月9日

○会議開催の概要

○委員会の設置

組合事業の執行につき理事会の諮問機関として
総務委員会

財務委員会

開発委員会

購買委員会

の4委員会を設け運営することとした。

○事業の状況

共同購買事業

組合員が共通して購買する油脂類・ホース類・エア工具類を重点に選定して事業活動を開始したが、需要量・季節性・購入単位等につき検討を加え、60年度軌道にのせたい。

管理斡旋事業

組合員保有機械の集中管理又は斡旋事業について60年度効果的に運営をすすめるべく計画している。

其の他の事業

事業資金の貸付 団体協約の締結・教育情報の提供・福利厚生等の事業については各委員会において充分討議をつくり順次活動に入る予定。

パキスタンの旅

飯田重利
東京・佛飯田機械産業

岩壁に釈迦の教を刻み付け
民導きし王の碑仰ぐ

鳴き渡る雁を仰げばヒマラヤの
山々夜空に白く耀く

コーランの響けば眠る家々に
朝のともし火点され渡る

夕焼くる積乱雲を写しつつ
インダス河は夜となりゆく

ガジュマルの気根に暗き並木路の
向ふアラビアの海光り見ゆ

日曜の人出でしカラチ海岸に
猿使ひの打つ太鼓の響く

眼下の砂漠の中をシルクロード
果てること無く一筋続く

黄塵の覆い静もる山間に
白く凍りし黄河の見ゆる

群馬県建設機械リース業協会

1. 昭和59年11月29日
群馬県建設機械リース業協会設立総会開催、正会員30社、賛助会々員22社、合計52社の会員で発足した。
2. 昭和60年1月23日
新春講演会を開催。
北越工業株式会社・代表取締役副社長佐山道雄氏を講師に招き「これからのレンタル業について」と題し講演会を開催した。
3. 昭和60年賀詞交換会を開催した。
4. 協会会員相互の親睦をより深める為、協会会員によるゴルフ愛好会を設立、GKLゴルフ会と名称を決め、第1回GKLゴルフコンペを昭和60年4月19日、会員及び賛助会会員20名の参加で開催された。
第1回の優勝は大旭建機(株)須田議氏。

信州の冬

紫烟に霞む山脈

八ヶ岳は小髯に 霜をおき

虚空に 屹立し孤高睥睨する

快速列車は甲州盆地に入り

葦崎を過ぎ 小淵沢にかゝると

トタンに表情を崩した八ヶ岳は

まるで巨大な黒牛の如く

ドツカリと臥し 人なつこく

信州路に 客を迎える

摩文仁の丘

糸満の海は姫百合の乙女の瞳の如く

碧く 眩ゆき陽光 更に心に沁みて

亦 涙する

戦火の嵐去って 四十星霜

緑葉 白日にきらめきて

彩とりも深く



瞳を廻せば

イフシ銀の岩塊を 天空に晒して

南アルプス連峰がキラメク

車窓に続く雑木林に

斑雪が模様を描き

偶に出会う 溪泉 寂として声なし

1985・1月

ハイビスカス 静かに 炎えて

吾れに語らう

1985・1月

青 畝

(全建リ協・松田専務理事)

福島県建設機械仮設リース業協会

当協会も、設立以来第11回の総会を、昭和60年5月14日、郡山市熱海町楽楽館に於て、メーカー各社の賛助会員、業界報道関係等多数のご出席を賜って盛会に開催された。

昨年度からの可搬形発電機の取り扱い業務の関係もあり本年度は、会員数も増加し—今後とも会員増の傾向である—漸く協会本来の目的遂行の趣旨の理解と、今後の業界の健全な発展の希望的理解が、今までの努力に依り見出された感である。

当協会としても、これを機会に、会員各位の経営体質の強化、構造改善事業の推進、流通問題(業界正常化の指導活動)の検討と具体的方策及び実行、その他登録制度の推進対応、会員相互の親睦と情報交換等を図り業界の適正化に努めたい所存である。

今後共本部の益々のご指導を期待するものである。

なお昨年10月以降の当協会の主な事業は以下の通りである。

- 昭和59年10月12日 役員会
建設機械整備技能講習会報告他

- 受講者 実技14名 学科9名
- 昭和59年11月21日 臨時総会
構造改善事業経過報告及び厚生年金基金設立について、日本生命保険相互(株)より中井・岡本両氏を招き説明願った。
終了後、忘年会。
- 昭和60年3月6日 役員会
可搬形発電機専門委員会の報告と対応について
- 昭和60年4月9日 役員会
第11回総会について(日時、事業計画等)
- 昭和60年5月8日 懇談会
県北地区リース業者の親睦と情報交換
- 昭和60年5月14日 親善ゴルフ大会(午前9時より)
- 昭和60年5月14日 第11回通常総会(午後4時30分より)、終了後懇親会
- 昭和60年5月23日~24日
可搬形発電機整備技術者講習会 於 仙台
福島支部 受講者29名

'85会員名簿訂正①

(正)

- P.185 興銀リース(株)営業第2部
後付・A I U 保険会社中
(株)サンテイ 住所、電話
- P.221 日産機材(株)九州支店
- P.187 日産機材(株)

- 代表者・取締役部長 須山俊郎
東京支店：東京都港区赤坂6-18-3(アイビービル4F)〒107 TEL 03-505-4955
横浜支店：横浜市戸塚区品濃町539-6(アーバン東戸塚6F)〒244 TEL045-821-7181
広島サンテイ：広島市中区立町2-23(野村不動産広島ビル4F)〒730 TEL082-241-9178
- 支店長 北村強助
- 代表者 廣川 昌

職場の安心を
お手伝い。

豊かな老後設計を
お手伝い。

企業・団体の福祉に

社会保障と退職金制度を調整する

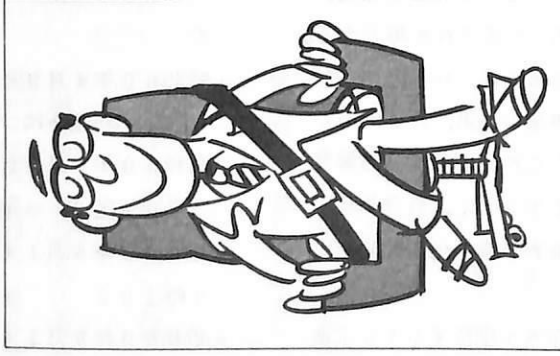
厚生年金基金

役員・従業員のかけた万が一の場合の保障に

団体定期保険

勤労者のゆたかな老後のために

財形年金保険



明治の
経営者年金 **いきいき**
〈個人年金保険〉

お選びください、3つのプランから。

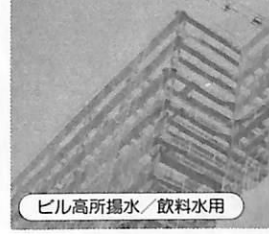
- プラン **1** 10年保証付 終身年金通増型
- プラン **2** 10年保証付 終身年金定額型
- プラン **3** 10年確定年金

明日の幸せを設計する

明治生命



Hydro Jet Cleaner & Hydro Tester



高圧洗浄、剝離、薬注、揚水、 各種水圧テスト用に!!

—ハイドロジェットクリーナー—
(高圧洗浄機)

0~1000 kgf/cm²
(マッハ1.3の流速)
116機種

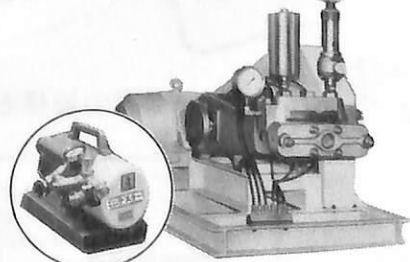
—ハイドロテスター—
(水圧テストポンプ)



SKYシリーズ40・70kgf/cm²
M: モートルタイプ E: エンジンタイプ W: 給水タンク付



SWHPシリーズ150kgf/cm²



0~1000kgf/cm² M.E.

お問い合わせは(本社、営業所、出張所共に)第2営業部まで御連絡下さい。各種テスト機を用意してお待ちしています。



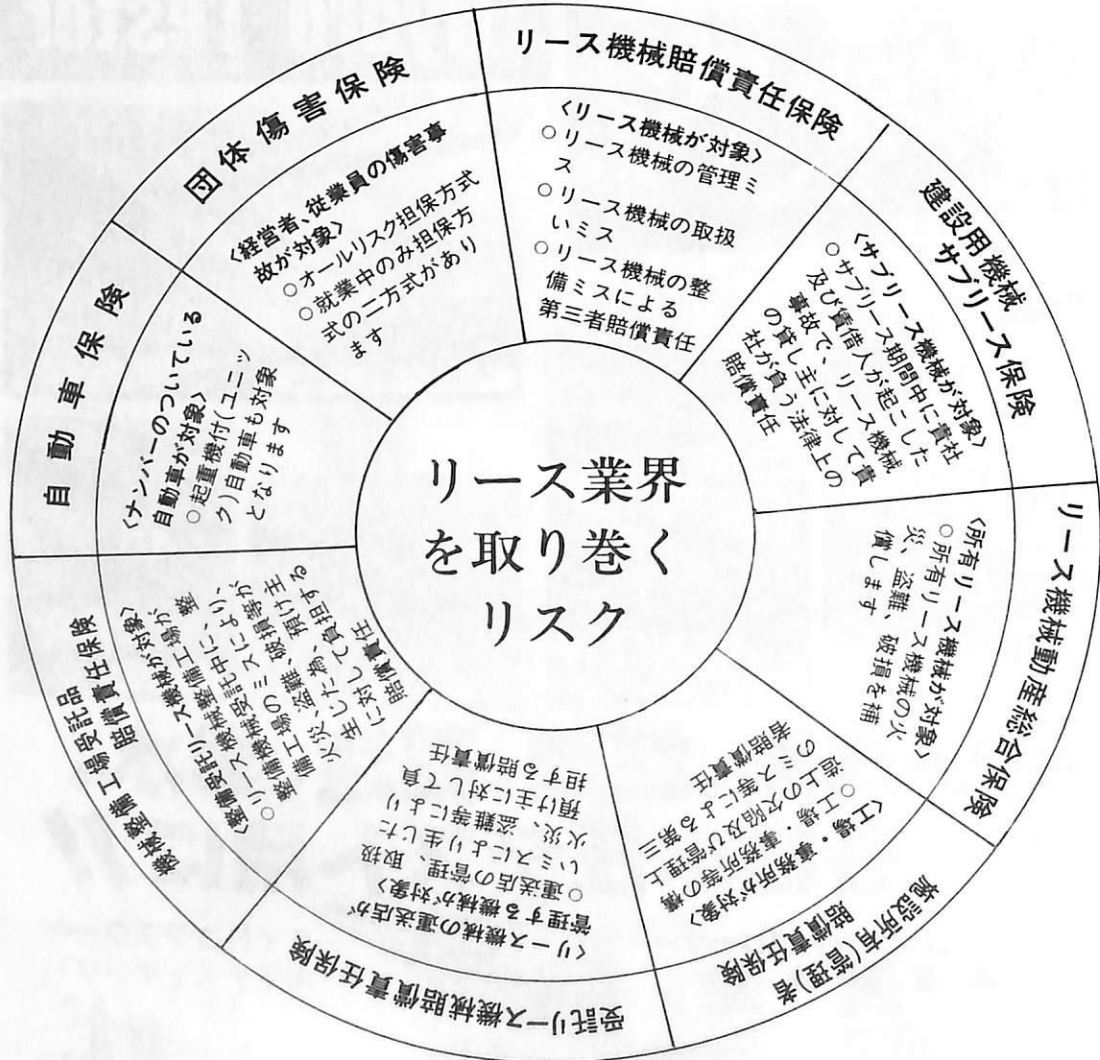
創業62周年、さらに未来へ躍進する
有光工業株式会社

本社 〒537 大阪市東成区深江北2丁目3-21
TEL06(976)8181(大代)

東京営業所
九州営業所
仙台営業所
営業所

TEL03(254)0855(代)
TEL092(925)7696
TEL0222(59)4093
札幌・大宮・松本

リース会社に必要なとされる保険



まだ、ご存知ない会員の皆様も是非所属協会または下記へお問い合わせ下さい。



引受保険会社 AIU 保険会社
(エイアイユー インシュアランス カンパニー)

赤坂支店：東京都港区赤坂3-1-2 TEL03-(583)-1121

取扱代理店 株式会社 **サンティ**

本社：横浜市中区山下町2(産業貿易センタービル2F)
〒231 TEL045-662-5799 FAX045-671-7069

東京支店：東京都港区赤坂6-18-3(アイビービル4F)
〒107 TEL03-505-4955 FAX03-505-2474

横浜支店：横浜市戸塚区品濃町539-6(アーバン東戸塚6F)
〒244 TEL045-821-7181 FAX045-821-5512

広島サンティ：広島市中区立町2-23(野村不動産広島ビル4F)
〒730 TEL082-241-9178



「イヨッ」という作業員のかげ声とともに、建設工事の現場で、アイチの鋭い立ちまわりが始まる。まずはスカイマスターが、無足場という新工法で、高所作業を難なく決め、次に控えしのトラッククレーンは、狭い舞台でも大きな作業。さて、どんしりに控えしの、トラックバックホーは低騒音で掘削だ。いま、お客様の要望、信頼に応え、様々な技巧を駆使して、作業の安全効率化を図るアイチの勇肌。建設工事には、こんな建て役者がよく似合います。

上手い、早い、イヨッ！大棟梁！
アイチの特装車輛は、建設工事の名優揃い。

建て役者

アイチにはこの他にも、自走式スカイマスター(ターゲース式・クローラ式・ホイール式)など、小型トラッククレーン、トラックバックホー(低騒音車・オートロング車・ブルーカー)など、多彩な役者が控えています。

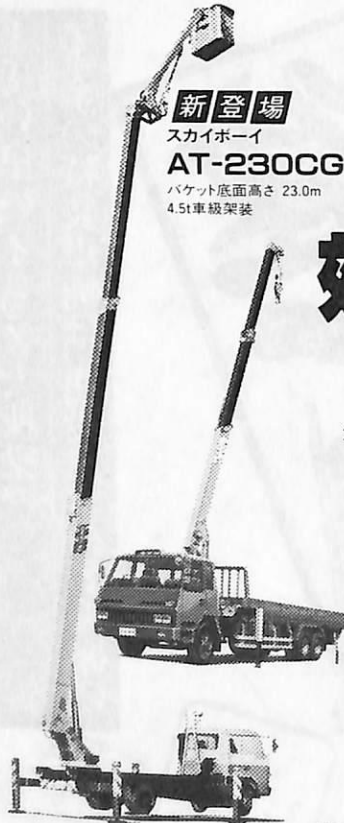


愛知車輛株式会社

東京支店 ☎03(862)4121(代) 名古屋支店 ☎052(621)5112(代) 大阪支店 ☎06(968)7731(代) 営業本部 ☎0487(81)1111(代) 愛知車輛北海道販売 ☎011(665)1301(代) 愛知車輛東北販売 ☎0222(36)0421(代) 愛知車輛北越販売 ☎0764(34)2181(代) 愛知車輛中国販売 ☎082(285)0201(代) 愛知車輛四国販売 ☎0878(74)0808(代) 愛知車輛九州販売 ☎092(935)5353(代)

先進の油圧技術で、 多彩な産業分野の 効率化を進めるタダノ。

新登場
スカイボーイ
AT-230CG
バケット底面高さ 23.0m
4.5t車級架装



ミニクレーン
TM-50ZH
最大吊上能力 4,900kg
最大ブーム長さ 9.50m
10t-12t車架装

新登場
タフローダ
TF-750H
クレーン容量7t・m (2,980kg × 2.35m)
4-12t車架装



新登場
ボールセッター
DT-600
最大吊上能力 2.9t
最大掘削トルク 630kgf・m
最大掘削深さ 5.2m



トラッククレーン
TG-1200M
最大吊上能力 120,000kg
最大ブーム長さ 50.0m + 26.0mジブ



ラフターラインクレーン
TR-250M
最大吊上能力 25,000kg
最大ブーム長さ 28.0m + 12.0mジブ



昭和30年、国産初のトラッククレーンを開発したタダノ。
以来、豊富な経験と蓄積された技術により
タダノはつねに時代のニーズに応えた多種多様な製品づくりに取り組んでいます。
そして、いまでは土木建設に欠くことのできない
大型トラッククレーンを始めラフターラインクレーン、ミニクレーン
高所作業に際立った威力を発揮するスカイボーイ、さらにセルフローダ、
バックホウなどを揃え、幅広い作業や用途にお応えします。
新時代、タダノは技術革新に対応しながら
最新技術を駆使した効率的な製品の開発を進めます。

TADANO
株式会社 多田野鉄工所
営業本部 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル30F TEL.03(435)3611代表

お問い合わせ、お求めはお近くの当社支店・営業所までどうぞ。
北海道(札幌)011(861)9030/帯広0155(25)6262/室蘭0143(44)0045/旭川0166(25)2817/東北(仙台)0222(57)4556
/盛岡0196(52)2248/青森0177(77)4231/秋田0188(62)0303/郡山0249(32)3513/関東(大宮)0486(41)3621/水戸02
92(24)1155/宇都宮0286(35)8555/千葉0472(42)2261/東京03(699)1441/多摩0423(65)0981/南関東(横浜)045(20
1)9771/静岡0542(82)2117/北陸(富山)0764(31)8427/新潟0252(45)7321/福井0776(53)2561/名古屋0586(76)1181
/松本0263(35)16131/大阪06(746)8731/京都075(681)0421/和歌山0734(53)7721/神戸078(928)9061/四国(高松)0
878(39)5777/高知0888(45)0073/岡山0859(43)5133/中国(広島)082(884)0255/岡山0862(23)9258/徳山0834(31)
1715/松江0852(24)7050/九州(福岡)092(411)9944/北九州093(531)2681/大分0975(32)16337/鹿児島0992(53)1008
/長崎0958(28)2766/宮崎0985(54)2843



TSURUMI PUMP

水を動かし、砂を動かし、泥を動かす
「洗う」「移す」「除く」「捨てる」「運ぶ」
いずれも土木現場に欠かせない
役割りです。
永年現場の声を反響して
育ったツルミポンプ。
いずれも頼もしい
稼ぎ手です。



株式会社 鶴見製作所 大阪本店 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号 ☎(06) 911-2355(代)
東京本社 東京都台東区台東4-27-4(アイデアル第5ビル) ☎(03) 833-0337(代)

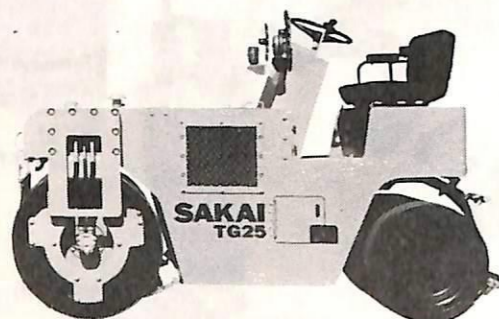
ツルミインダストリアル株式会社 大阪市西区南堀江4丁目9番35号 ☎(06) 541-8336(代)

株式会社 ツルミポンプ 東京都台東区台東4-27-4(アイデアル第5ビル) ☎(03) 833-9765(代)

●全国57の営業拠点。車で24時間のネットワークサービス。

北海道支店 ☎(011) 731-8385	北陸支店 ☎(0762) 68-2761	中国支店 ☎(082) 293-4481
東北支店 ☎(0222) 84-4107	中部支店 ☎(052) 481-8181	四国支店 ☎(0878) 43-5133
東京支店 ☎(03) 833-0331	大阪支店 ☎(06) 911-2351	九州支店 ☎(092) 431-0371

「技術と実績 ローラのサカイ」 小型振動転圧機シリーズ



TG・TWシリーズ

TG15	1,500kg	TW40	3,500kg
SG15	1,550kg	SW40	4,000kg
TG25	2,500kg	TW60	5,750kg
SG25	2,700kg	SW60	6,550kg
TG40	4,000kg	SW70	7,000kg
SG40	4,150kg	(両輪駆動・センターヒン式)	



ハンドガイドローラシリーズ

SV6	600kg
SV8	770kg
SV10	1,090kg



プレート・タンパーシリーズ

VT6	60kg	PC6S	60kg
VT7	70kg	PC6A	60kg
VT8	80kg	PC6T	75kg
		PC7S	70kg
		PC7B	75kg
		PC8	90kg
		PC8S	85kg

SKW 酒井重工業株式会社

TEL.03(434)3401代表

営業所：札幌・仙台・東京第一・東京第二・芝浦・名古屋・大阪・茨木・広島・福岡

可変型高周波杭打抜機

高能力・超低公害

VXシリーズ

40・60・80



“高能力・低公害・省力化”の一層の促進、今、この限りないテーマに振動杭打抜機としての一つの結論を提起します。

可変型の名の通り、押ボタンの操作ひとつで機械の動きを自在に調整。

地盤変化に即応するこの画期的な機構により、パイプロを超える破格の性能と、LSVを超える万全の振動・騒音対策効果を同時に達成する驚異の新型杭打抜機……それが“VX”シリーズです。

エンジン駆動式ウォータージェット
スラッシュジェット
SJ-75・125E



鋼矢板・H形鋼・鋼管矢板等 振動と水
既製鋼杭の打設システム JV工法

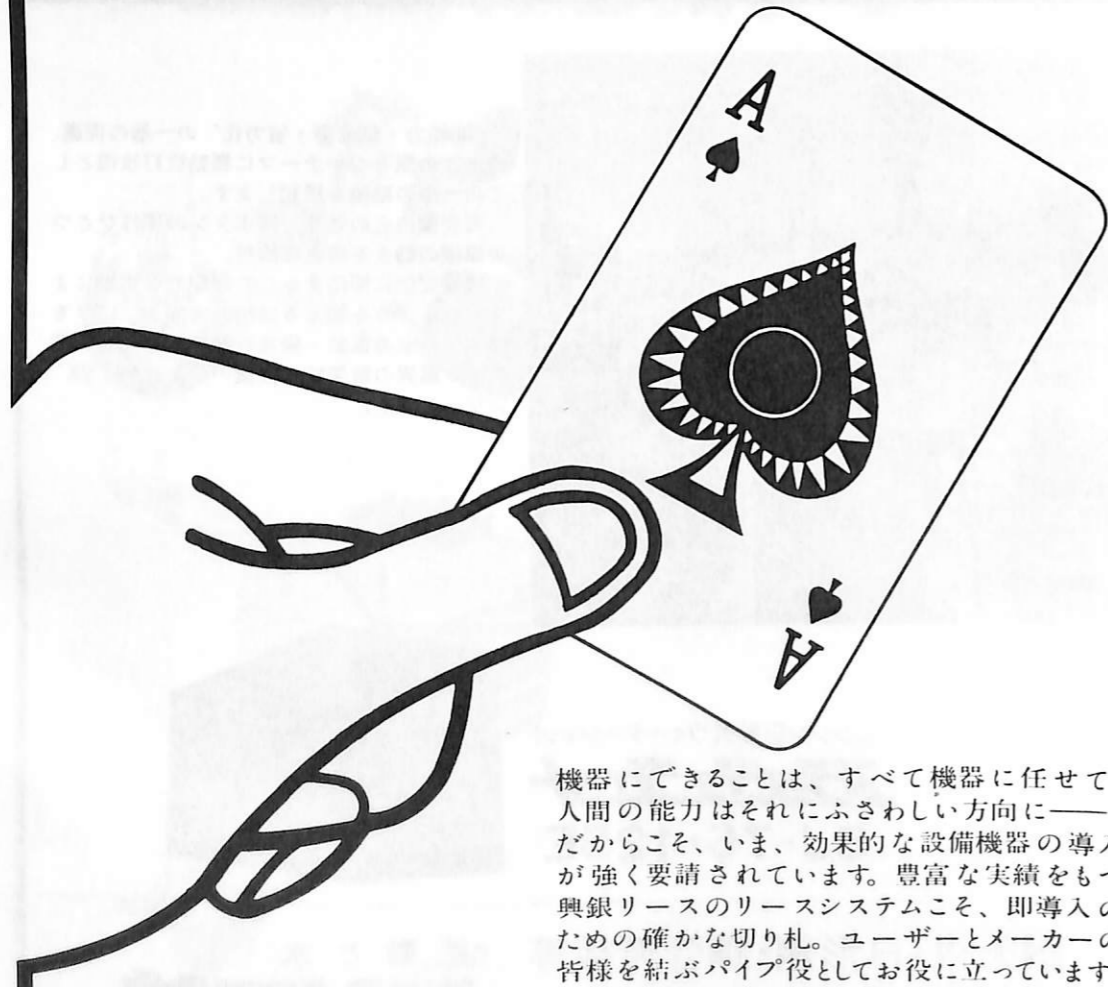
JV工法…地盤や杭の条件に合わせ振動杭打機とウォータージェットカッターの適切な組み合わせにより、あらゆる既製杭を低公害・高能力・高能率で打込む施工法です。

最新のVXシリーズとSJEシリーズの組み合わせはJV工法の格段の進歩を実現します。

トーマン建機販売株式会社

東京本社 東京都品川区五反田2丁目28番11号(第5岩田ビル)
☎(03)492-8481

確かな切り札



機器にできることは、すべて機器に任せて、人間の能力はそれにふさわしい方向に——。だからこそ、いま、効果的な設備機器の導入が強く要請されています。豊富な実績をもつ興銀リースのリースシステムこそ、即導入のための確かな切り札。ユーザーとメーカーの皆様を結ぶパイプ役としてお役に立っています。

リースで経営に弾力を



興銀リース株式会社

本社 / 〒100 東京都千代田区丸の内1-11-1 興銀・ヤンマー合同ビル TEL(03)214-6461(大代表) FAX:(03)211-6486

大阪支店 / 〒541 大阪市東区高麗橋5-1 興銀ビル TEL(06)201-3981(代表)

名古屋支店 / 〒450 名古屋市中村区名駅4-26-25 名古屋大商ビル TEL(052)582-5831(代表)

札幌支店 / 〒060 札幌市中央区北一条西5-2 札幌興銀ビル TEL(011)231-1341(代表)

仙台支店 / 〒980 仙台市一番町2-4-1 興和ビル TEL(0222)23-2611(代表)

広島支店 / 〒730 広島市中区紙屋町2-1-22 興銀ビル TEL(082)249-4435(代表)

福岡支店 / 〒810 福岡市中央区天神1-13-2 興銀ビル TEL(092)714-5671(代表)

協会支部名簿

(昭和60年7月現在)

社団法人 全国建設機械器具リース業協会 事務局 〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4階
会長 坂井 熙 TEL 03(293)7273~4

支部名称	代表者名	事務局長名	事務局所在地	電話	〒
北海道建設機械リース業協会	片桐 理	安達美代治	北海道札幌市中央区北4条東2-7-3 斎藤ビル2F	011 221-1485	060
青森県建設機械リース業協会	高橋弘一	小田桐勝雄	青森県青森市港町1-7-1 (株)高重組内	0177 41-6531	030
宮城県建設機械リース業協会	阿部喜平	高田定雄	宮城県仙台市福室字高砂駅東17 青森商工ビル3F	0222 59-0631	983
福島県建設機械仮設リース業協会	菅野 剛	鈴木英子	福島県郡山市富田町字向館121-20	0249 52-0588	963
群馬県建設機械リース業協会	高屋浩志	坂本勝利	群馬県前橋市小出町755-8 高栄リース(株)内	0272 33-0522	371
茨城県建設機械リース業協会	染谷和良	河合政彦	茨城県新治郡千代田村上稲吉2044 三委自動車(株)内	0298 31-1261	315
新東京建設機械リース業協会	小俣 實	関口正一郎	東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F	03-294 4071~2	101
神奈川県建設機械リース業協会	中村 憲	田口政重	神奈川県横浜市西区平沼1-2-23 中村商店内	045 322-0613	220
長野県建設機械リース業協会	原 幸男	清水英明	長野県飯田市大門町26 (株)原鉄内	0265 24-9178	395
静岡県建設機械リース業協会	松井重雄	片桐 茂	静岡県浜松市上西町865 大興リース(株)内	0534 63-8821	435
静岡県重機建設業工業組合	近藤憲一	山川安豊 (保坂益男)	静岡県静岡市新川2-1-40 新川ビル内	0542 85-9231	422
中部建設機械リース業協会	坂井 熙	林 馨	愛知県名古屋市西区藤ノ宮通り3-43 小出ビル内	052 571-2080	451
富山県建設機械リース業協会	高野 登	小倉秀信	富山県黒部市沓掛567 吉田商会内	0765 54-1371	938
石川県建設機械リース業協会	吉川義孝	副田正夫	石川県金沢市長田本町チ57-1 (株)ケンシン内	0762 64-1255	920
福井県建設機械リース業協同組合	水野健治	松川秀次	福井県福井市問屋町2-45 (株)松田商会内	0776 21-9010	910
大阪建設機械リース協同組合	佐川重徳	野崎雅子	大阪府大阪市浪速区桜川3-4-24 カベタニビル内	06 561-7405 561-7407	556
兵庫県建設機械リース業協同組合	松山 庚	小川壯一	兵庫県神戸市中央区多聞通3-2-9 甲南スカイビル4F316号	078 361-2481	650
中国建設機械リース業協会	野口誠輔	三木勢造	広島県福山市曙町3-200-2 富野機工(株)内	0849 53-9511	721
四国建設機械リース業協会	松井 貢	田中萬一 (明石俊幸)	香川県高松市春日町795 (株)田中鉄工所内	0878 43-6140	761-01
九州建設機械リース業協会	深尾弘美	松永 満	福岡県福岡市東区箱崎7-1-124 西鉄(株)建機営業部内	092 651-1192	812

編集後記

夏の盛りに会報前期号が、遅れて出来ました。可発の取り扱い等も含めて会員の大巾増加等によって、会員名簿の発刊がたいへんに延びておりましたが7月中旬完成しましたので、引き続いてこの第24号をお届けする次第です。

本号は第12回の総会と、可搬形発電機についての諸問題を中心に編集致しました。この正しい運用が協会の新しい活力と向上の一つのバネとなることを願っております。

引き続きこの11月頃には後期号を予定しておりますので、各協会の地区だよりは勿論、会員の



●表紙写真について

協会のお隣り、後楽園の木立です。都心の夏に、この園内には静寂が残されています。もと水戸侯上屋敷内の庭園でしたが、明暦の大火で焼け、二代水戸光圀によって1969年頃完成、一部現存して指定名勝跡になっております。濃い木々の緑の間から僅かにビル影が覗きます。

皆さんの短歌・俳句・随想等お寄せ下さるよう、お待ちしております。

協会副会長・広報委員長
中村 憲

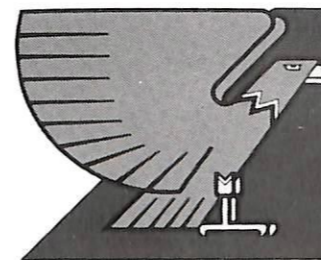
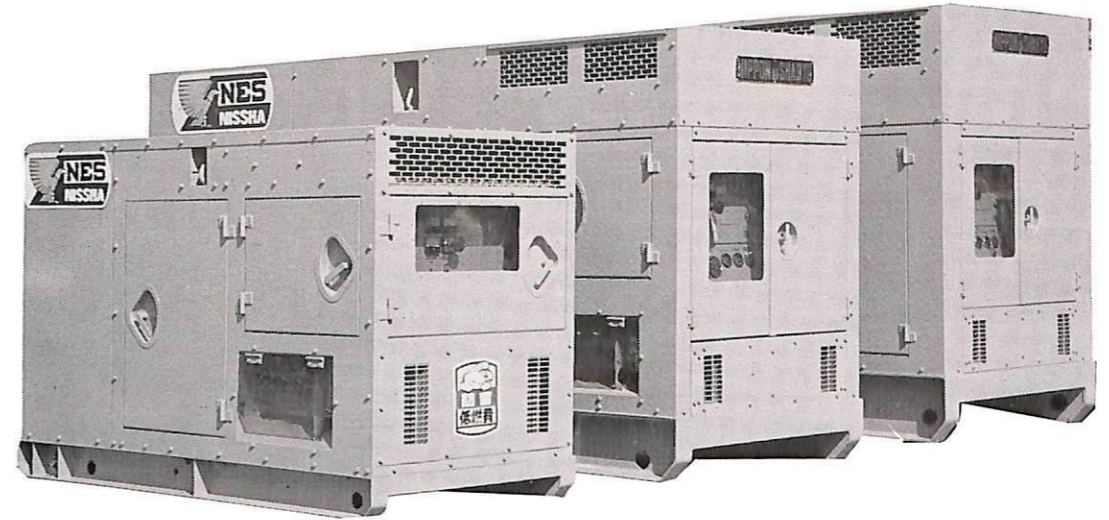
事務局よりお願い

1. 貴支部の協会、組合員中に慶弔が御座いました折は、支部事務局を通じ本部事務局までご連絡下さい。慶弔電を発信したいと存じます。
2. 毎月20日現在における貴支部の正会員、賛助会員数をご連絡頂きます様、お願い申し上げます。
3. 本部事務局にファクシミリが入りました。ご利用下さい。

FAX 03(293)7275

会報 第24号

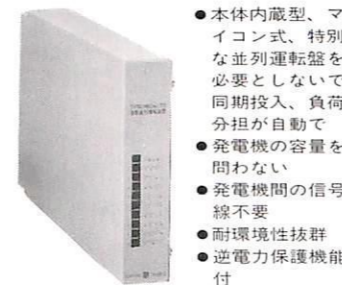
発行/昭和60年7月31日、 発行者/(社)全国建設機械器具リース業協会
東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F(〒101) TEL03(293)7273~4
発行責任者/広報委員長 中村 憲
制作/ノダ企画・東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル(〒113) TEL03(832)6473



NESシリーズ ディーゼル発電機

オプション/防音型・標準型

全自動並列運転装置 シンクロート®



- 本体内蔵型、マイコン式、特別な並列運転盤を必要としないで同期投入、負荷分担が自動で
- 発電機の容量を問わない
- 発電機間の信号線不要
- 耐環境性抜群
- 逆電力保護機能付

自動始動装置



- 発電セットに内蔵され、特別な自動始動盤は必要なし
- 故障表示灯もコントロール盤面に簡単に取り付けられ、異常項目を表示

スローダウン装置(リモコン付)



- 無駄な燃料を、スローダウン装置は約20~30%カット
- ディーゼル発電機の速隔操作、例えばクローラクレーンの運転席から発電機の始動・停止・スローダウンの操作ができる

モニター装置



- 運転前・運転中の不具合のチェック
- リース機などの出荷点検の簡便化
- 致命的なエンジントラブルの未然防止
- 最適状態でのディーゼル発電機の使用
——漏電保護装置(オプション)と合せて使用すればさらに安全性が増す

日車総代理店



にちゅう
日熊工機株式会社

建設機械部/名古屋市中区栄3-2-7 丸善ビル5階 〒460 電話(052)261-8356

建設機械部東京営業所/東京都中央区八丁堀1-11-5 奥山ビル 〒104 電話(03)552-9551

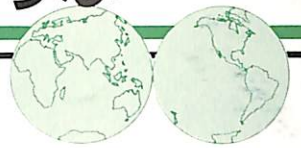
札幌 釧路 青森 秋田 盛岡 仙台 新潟 金沢 名古屋 大阪 岡山
広島 高知 福岡 鹿児島

確かな技術で世界をむすぶ



エアマン

の建設機械



LESS FUEL & MORE SAFETY

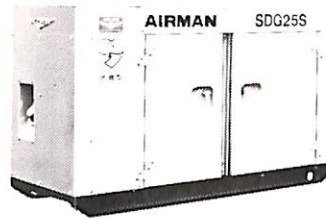
より優れた環境づくりを目指し
豊富な経験と確かな新しい技術で
省エネ、騒音対策、高効率などを
お届けします。



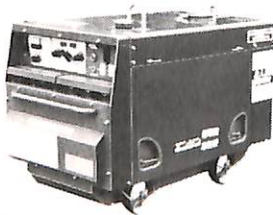
■スクリーコンプレッサ
PDS125S



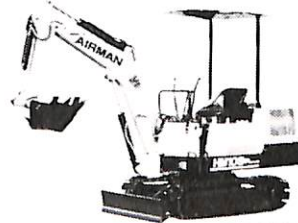
■スクリーコンプレッサ
SMS75S



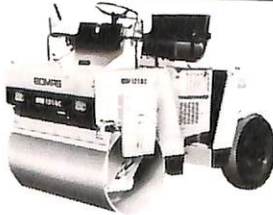
■フラシレス発電機
SDG25S



■エンジン溶接機
PDW280SCII
(二人同時溶接)



■ミニバックホー
HM10S



■ホーマク振動ローラ
BW121AC



■油圧ブレイカ
RM1Z

★主要製品 ●スクリーコンプレッサ ●ロータリーコンプレッサ ●エンジン発電機 ●エンジン溶接機
●ミニバックホー ●振動ローラ ●ランマー ●フレート ●油圧ブレイカ



北越工業株式会社

- 東京本社・支店 東京都新宿区西新宿1 22 2 新宿サンエービル 〒160 ☎(03)348 8561
- 大阪支店 大阪府摂津市新在家2 32 13 〒564 ☎(06)349 3631
- 営業所 札幌・旭川・盛岡・仙台・新潟・郡山・宇都宮・高崎・松本・千葉・横浜・静岡・富山・金沢
名古屋・津・京都・奈良・和歌山・神戸・岡山・松江・広島・山口・高松・高知・松山・福岡
大分・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・那覇